

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	災害に強い国土構造への再構築に資する 情報整備（東日本大震災関連）		<b>担当部局庁</b>	国土政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・ 終了(予定)年度</b>	H24		<b>担当課室</b>	国土情報課		課長 橋本 裕治		
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計		<b>政策・施策名</b>	10 国土の総合的な利用、整備及び保全、国土に関する情報の整備 37 総合的な国土形成を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	国土形成計画法 国土利用計画法 地理空間情報活用推進基本法		<b>関係する計画、 通知等</b>	国土形成計画(全国計画)(H20年7月4日閣議決定) 国土利用計画(全国計画)(H20年7月4日閣議決定) 地理空間情報活用推進基本計画(H24年3月27日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)</b>	東日本大震災の教訓を踏まえた安全で安心な生活ができる災害に強い国土構造への再構築を図るための国土政策の検討・見直しに資することを目的として、災害時に重要となる施設の属性情報や浸水想定区域等に関する国土情報を整備する。また、整備した情報はホームページを通じて広く一般に提供する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	災害に強い国土構造への再構築及び国土政策の検討・見直しに向けた検討に資する数値情報として、河川の氾濫時の浸水深を示す浸水想定区域の位置に関する情報、災害発生時の避難施設の位置、上下水道関連施設等災害時に重要となる施設や範囲及びその属性情報に関する情報の整備を行う。また、これら整備を行った国土数値情報は、防災・減災対策の検討等に資するデータとして省内外での活用を促すため、ホームページ上で公開する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の状 況	当初予算			119			
		補正予算			-			
		繰越し等			-			
		計			119			
	執行額			118				
	執行率(%)			99%				
<b>成果目標及び成 果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (毎年度)
	国土数値情報のダウンロード件数		成果実績	万件	52	82	94	前年度までの実績トレンドに比し現状維持または増加
			達成度		順調	順調	順調	
<b>活動指標及び活 動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国土数値情報の整備・更新データ件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	5	-
<b>単位当たり コスト</b>	国土数値情報の1施設当たりの作成費用実績(整備を行った国土数値情報の代表例): 下水道関連施設:5,063(円/件)、浸水想定区域:3,053(円/件)		算出根拠	国土数値情報作成業務支出額: 下水道関連施設:約29百万円、5,723件 浸水想定区域:約5百万円、1,641件				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国における災害に強い国土構造への再構築の検討に資する情報であり、国費を投入する必要がある。また、防災・減災対策の推進に向けて優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業者選定にあたっては、一般競争入札を実施し、コスト削減や競争性の確保に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	データの整備にあたっては、効率的な情報収集手法やデータ形式などを調査した上で実施しており、効果的かつ低コストでデータ整備を行っている。整備したデータについては、省内で災害に強い国土構造への再構築の検討に活用するとともに、国土交通省HPにて公開し、一般に活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ整備項目は、国として災害に強い国土への再構築を検討するにあたって必要となるデータとして、他の主体が整備しているデータと重複しないよう精査し、特に、政策的な優先度や緊急度の高いデータを選定して整備し、平成24年度に事業は完了した。</li> <li>業者選定にあたっては、一般競争入札により発注を行い、コスト削減や競争性の確保に努めている。</li> <li>整備したデータについては、国土交通省HPより公開し、広く一般提供を行う。</li> </ul>				
外部有識者の所見					
・特にコメントなし。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
抜本的な改善	既に廃止されている。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	平成24年度で廃止				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	1007

国土交通省  
118百万円

作業手順の指示及び業務の監督・進捗管理 等

A.民間企業  
(4社)  
118百万円

国土交通省の定める仕様書、作業手順書に  
基づくデータ整備、品質評価等の実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.国際航業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務原価等	直接人件費等業務原価及び一般管理費	55			
税	消費税	3			
計		57	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際航業(株)	国土数値情報(下水道関連施設)作成及び品質評価業務	57	3	89%
2		国土数値情報(海岸保全施設)作成業務(ブロックA)		6	96%
3	(株)きもと	国土数値情報(浸水想定区域)作成業務	31	15	52%
4		国土数値情報(上水道関連施設)作成業務		6	87%
5	(株)協振技建	国土数値情報(海岸保全施設)作成業務(ブロックB)	24	5	70%
6	ナカシャクリエイト(株)	国土数値情報(避難施設)作成業務	6	16	63%